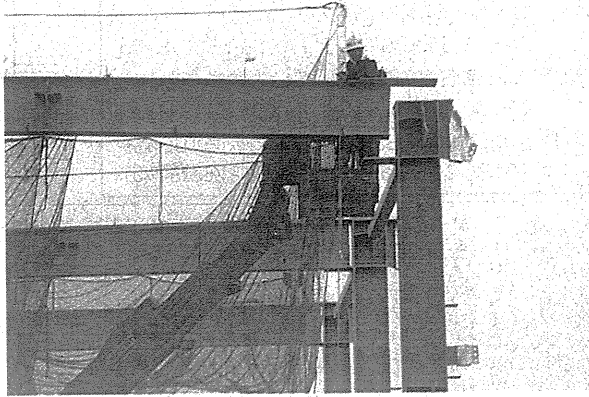


JFEシビル

SJ工法 1号案件 鉄骨工事を完了

短工期実現 適用拡大目指す



シートジョイント部分

JFEシビル(藤井善英社長)は、「シートジョイント工法」(SJ工法)を適用した第1号案件(仮称)正和運輸倉庫棟増築工事(広島市佐伯区)の鉄骨工事を完了した。昨年8月に一般評定を取得した工法で、鉄骨造の仕口部において短工期を実現。短工期・省力化のニーズを背景に、今回の実績をもとに適用拡大を目指す。

「短工期の要望があったので、それに応えることができた」(システム建築事業部)。シートジョイント工法はBCJ評定(LS0086-01)を取得。今回、SJ工法を提案することで受注につながり、現場のスムーズな施工にもつながった。工事の発注者は正和運輸。延べ床面積921・6平方メートルで本体鉄

骨の重量は84ト。鉄骨建方は7月6日から17日の約10日間で完了した。全体工事は4月13日に着手し、9月末ごろには竣工する予定。